

2020/01/05

「古い皮袋と新しい皮袋」

むかしむかし、ある青年が王様をうらやんで言いました。「王様はいいなあ。何でもほしいものを手に入れることができ、幸せだなあ。」

すると、それを聞いていた老人が次のように言いました。

「そうかな。ほしい物を手に入れることができる人生が本当に幸せと言えるのかな？今あるものに感謝できるほうが幸せだと思うけどな。」

しかし、青年は「何を言っているんだ？ほしい物が手に入るほうが幸せに決まっているじゃないか。」と言って譲りません。そこで、老人は次のようなたとえ話をしました。

「二人の人が、それぞれ皮袋を持ち、自分に必要なものを入れていた。ところが、いっぼうの人の皮袋には穴が開いていて、入れたものがどんどん漏れていってしまう。だから、この人は皮袋を満たすため、次から次へとほしい物を手に入れる毎日を送っている。しかし、もう一人のほうは、皮袋が破れていないので、手に入れた品物に満足して暮らしている。いったいどちらが幸せだと思うかね？」

すると、青年は「もちろん、皮袋に穴が開いてなくて満足しているほうだよ。」

「おや。キミはさっきほしい物を手に入れ続ける人生のほうが幸せだと言わなかったかい？君の言っていることは矛盾しているんだよ。」

皆さんの人生はどうでしょうか。いつも自分の皮袋に何を入れるか、何を手にするかということばかり考えてはいないでしょうか。それは、あなたの人生の皮袋に穴が開いているからです。もし、完全な皮袋を持っていれば、入れたものを失うことがないので、心配することがありません。すべて感謝することができるのです。新しいものを求め続け、常にそれを失うことになる人生と、手に入れたものすべてを感謝できる人生のどちらをあなたは望みますか。

「また、人は新しいぶどう酒を古い皮袋に入れるようなことはしません。そんなことをすれば、皮袋は裂けて、ぶどう酒が流れ出てしまい、皮袋もだめになってしまいます。新しいぶどう酒を新しい皮袋に入れれば、両方とも保ちます。」(マタイ 9:17)

皮袋とは人の心です。神の恵みを受け取っても、古い皮袋のままでは次から次に漏れてしまい、感謝するものが何も残りません。すべての人には新しい皮袋が必要です。そうすれば、今ある環境に感謝して生きることができるようになります。新しい皮袋にするにはどうすれば良いのでしょうか。

1. 何が一番大切か

自分の人生にとって何が一番大切か、それが明確でない人は穴が開いたままの人生です。何を入れても、満足することがありません。

「狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広いからです。そして、そこから入って行く者が多いのです。いのちに至る門は小さく、その道は狭く、それを見いだす者はまれです。」(マタイ 7:13-14)

聖書が教える「狭い門」とはイエス・キリストです。これこそが大切なものだとすることを知らなければ、何をしても満足できません。

あなたが本当に困ったとき、あなたを助けるものは何でしょうか。友人でしょうか。お金でしょうか。もし、無人島に取り残されたとしたら、いったい何があなたの力になるのでしょうか。

あなたを本当に助けるもの、それはイエス・キリストです。イエス・キリストは、あなたを死から救い出し、いのちを与えることができるただ一人のお方です。これがいのちに至る門なのです。

あなたは、それこそが一番大切なものだと知っているのでしょうか。今自分がしようとしていることの先に何があるのかを見据え、自分が目指しているものはいのちに至るのかを考えてみましょう。

2. 一番大切なものを大切にしているか

家族も、友人も、お金も、健康も、どんなに素晴らしいものを持っていても、人は必ず死を迎えます。しかし、イエス・キリストはどのような時も、あなたを助けてくださいます。そのイエス・キリストを、あなたは日々の生活で大切にしているのでしょうか。

礼拝、御言葉、祈り、献金・・・、あなたはこれらのものを神への捧げものとして実際に大切にしていますか。頭ではわかっているけれども実際の行動は、「余裕があったら教会に行こう」「時間があったら聖書を読もう」「お金があったら献金しよう」と、自分の願いを優先し、あまったもので神と交わろうとしてはいないのでしょうか。

そのような生き方は恵みが漏れてしまう、古い皮袋です。どんな時も神と共に生き、本当の助けを受け取る生き方が、新しい皮袋なのです。

3. 神から受けた恵みを考えよ

あなたが神から受けとった恵みの一つは、罪が赦された恵みです。神は決してあなたの罪を問うことはありません。ですから、あなたの永遠のいのちは保証されているのです。この恵みを確認して生きましょう。

「人は、たとえ全世界を手に入れても、まことのいのちを損じたら、何の得がありません。そのいのちを買い戻すのには、人はいったい何を差し出せばよいでしょう。」
(マタイ 16:26)

イエス様を大切にし、イエス様の恵みを確認すれば、神に感謝することができます。この

ような皮袋を手にしたら、そこに何が入ってきても、たとえそれがわずかであってもたくさんであっても、どのような状況であっても感謝できるのです。しっかりとした漏れない土台、つまり、罪が赦され永遠のいのちを持っているという土台がしっかりできることこそが、破れない新しい皮袋です。破れたままの皮袋で生きる限り、何を得ても満足することができません。

あなたは、神からいただいた恵みを忘れてはいないでしょうか。その恵みに今一度気づき、イエスを大切に、イエスを中心に生きる時、あなたの皮袋は穴のないものとなり、すべてのことを感謝できるようになります。

これが、聖書が教える幸せです。何かを得ることが幸せなのではありません。あなたが神の恵みに気づく時、何が本当の幸せかわかるようになることでしょう。しっかりした新しい皮袋を手にし、日々の生活に臨むことができれば幸いです。